



平成 19 年 10 月 15 日

各 位

会 社 名 共 立 印 刷 株 式 会 社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 野 田 勝 憲  
(コ ー ド 番 号 7838 東 証 第 一 部)  
問 合 せ 先 常 務 取 締 役 管 理 統 括 木 村 純  
電 話 番 号 03-5248-7800

### 中間期及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 5 月 10 日の決算発表時に公表いたしました平成 20 年 3 月期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）の中間期及び通期の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。なお、配当予想（中間 7 円、期末 7 円）に変更はございません。

#### 記

#### 1. 平成 20 年 3 月期中間期業績予想数値の修正（平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 9 月 30 日）

##### ①連結業績予想

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前 回 発 表 予 想 ( A )	18,100	1,470	1,320	750
今 回 修 正 予 想 ( B )	17,250	950	820	480
増 減 額 ( B - A )	△850	△520	△500	△270
増 減 率 ( % )	△4.7	△35.4	△37.9	△36.0
(ご参考) 前期実績(平成 19 年 3 月期中間期)	17,220	1,432	1,273	742

(金額の単位：百万円)

##### ②個別業績予想

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前 回 発 表 予 想 ( A )	17,800	1,350	1,220	970
今 回 修 正 予 想 ( B )	17,080	830	710	710
増 減 額 ( B - A )	△720	△520	△510	△260
増 減 率 ( % )	△4.0	△38.5	△41.8	△26.8
(ご参考) 前期実績(平成 19 年 3 月期中間期)	16,952	1,287	1,172	683

(金額の単位：百万円)

## 2. 平成20年3月期通期業績予想数値の修正（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

### ①連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	36,000	2,900	2,630	1,500
今回修正予想（B）	36,000	2,200	1,920	1,090
増減額（B－A）	0	△700	△710	△410
増減率（％）	0.0	△24.1	△27.0	△27.3
（ご参考） 前期実績（平成19年3月期）	34,470	2,776	2,477	1,426

（金額の単位：百万円）

### ②個別業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	35,300	2,640	2,420	1,670
今回修正予想（B）	35,300	1,960	1,740	1,280
増減額（B－A）	0	△680	△680	△390
増減率（％）	0.0	△25.8	△28.1	△23.4
（ご参考） 前期実績（平成19年3月期）	33,835	2,465	2,244	1,302

（金額の単位：百万円）

## 3. 業績予想修正の理由

当社グループの属する印刷業界におきましては、顧客からの印刷単価引き下げの要請が期初の想定を上回る速度で伸展しております。当社グループはその影響を最小限に止めるべく、生産要員約60名の増員ならびに高速オフセット輪転機3台の新規導入を行い生産性と内製率の向上を図り、収益の最大化に努めてまいりました。

しかしながら、売上高につきましては前年同期の水準を維持し、かつ生産量につきましては過去最高を更新いたしましたものの、利益面におきましては、単価引き下げの影響等を吸収するまでには至らずに期初の予想を下回ることとなりました。

今後も厳しい業界環境が継続するものと想定されますが、印刷需要そのものは堅調に推移しております。下期におきましては、上期に増員した生産要員の技能が熟練化し新設の輪転機3台がフルに生産性と内製率の向上に寄与することから、利益面につきましては回復基調で推移するものと考えております。継続して活動を行っております収益向上プロジェクト、品質保証プロジェクト等をさらに強力で推進し業績の向上に邁進してまいります。

（注）上記の予想は発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性がありますのでご承知おきください。

以 上